

尾道市けんしんの種類と内容

健診項目		対象者	内 容	自己負担金 (円)					
対象者は令和6年3月31日現在の年齢 ※同じ健(検)診を受診できるのは、1年に1回です。				集団健診			医療機関健診		
				69歳まで	70~74歳	75歳以上	69歳まで	70~74歳	75歳以上
特定健診 ※医療保険者が発行する 受診券が必要 ※社保本人の方は受診不可	40~74歳	特定健診項目 身体測定・血圧測定・尿検査・血液検査・診察など		受診券に記載された料金 (尾道市国保：無料)			受診券に記載された料金 (尾道市国保：無料)		
New 若年健診 ※保険証の提示のみ必要	18~39歳の 尾道市国保加入者のみ	特定健診項目に準ずる		18~39歳 尾道市 国保無料					
後期高齢者健診 ※保険証の提示のみ必要	75歳以上	特定健診項目に準ずるが、腹囲測定はなし				無料			無料
肝炎ウイルス検診 ※今まで受けたことのない人のみ	40歳以上	血液検査でB型・C型肝炎ウイルスの感染を調べる検査		700	無料	無料	特定健診と同時1,100 単独1,700	無料	無料
胃がん検診	X線検査 内視鏡検査	どちらか一方を選んで受診 発泡剤とバリウム(造影剤)を飲み、胃の粘膜をみるレントゲン撮影検査 胃カメラを口または鼻から挿入し、胃の内部を直接みる検査		1,300	500	公立みつぎ総合病院のみ 300	3,400	1,300	500
							4,700	1,700	1,700
子宮頸がん検診 (2年に1回受診可)	20歳以上の 偶数年齢の女性	子宮の入口(子宮頸部)を目で見て、ブラシ等で細胞を擦り取ってがん細胞の有無を調べる検査		500	300	300	500	500	300
乳がん検診 (2年に1回受診可)	40歳以上の 偶数年齢の女性	プラスチックの板と撮影台に乳房をはさんでレントゲン撮影する検査		500	400	400	500	500	400
大腸がん検診	40歳以上	便を2日分採り、肉眼ではわからない血液を見つけ、消化管からの出血を調べる検査		500	300	200	500	500	300
前立腺がん検診	50歳以上の男性	血液検査で前立腺特異抗原(PSA)を調べます。		600	300	200	1,000	400	300
腹部エコー		腹部に超音波をあてて胆のう、肝臓、腎臓、脾臓の状態を調べる検査					1,500	600	500
肺がん検診	胸部X線	胸部のレントゲン撮影で息を吸って肺を大きく広げたところを撮影する検査		300	200	200	1,100	500	200
	胸部X線検査 +喀痰* アスベスト関連問診						2,100	800	400

※胃がん検診(内視鏡検査)は精度向上のため二重読影を行うので、結果が出るまでに時間がかかります。

※天候、感染症の拡大状況等により、健診が中止になる場合があります。ご了承ください。

* 喀痰検査…50歳以上で喫煙指数600以上の人、または40歳以上でアスベスト関連スクリーニング該当者が対象です

自己負担が無料の人

- 生活保護世帯の人は、すべての検診が無料
 - 市民税非課税世帯の人は、肝炎ウイルス検診のみ無料
- ※事前申請のない場合は有料となります。

料金の見方 《集団健診で乳がん検診を受診した場合》

- 年度末年齢は70歳だけど、受診日が69歳の場合の自己負担額は？
⇒年度末年齢が70歳なので、自己負担額は400円です。



歯っぴー検診 (歯周疾患検診)



対象者：35・40・45・50・55・60・65・70歳の人
(令和6年3月31日時点での年齢)

【実施時期】 10月~11月

【自己負担金】 無料

※対象者には、9月中旬に受診券(ハガキ)を送付

《対象者一例》

20歳	平成15年4月1日~平成16年3月31日	50歳	昭和48年4月1日~昭和49年3月31日
30歳	平成5年4月1日~平成6年3月31日	60歳	昭和38年4月1日~昭和39年3月31日
40歳	昭和58年4月1日~昭和59年3月31日	70歳	昭和28年4月1日~昭和29年3月31日